

令和3年度 第20回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年2月19日（土） 9時30分～12時40分
- 2 参加方法 オンラインのみ
- 3 出席者 子ども会議委員6名、事務局2名
- 4 活動内容 (1) 令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について
 - ・発表内容について
 - ・記念品等について(2) 令和4年度 青森市子ども会議委員募集チラシについて
 - ・デザイン決定(3) Instagram への投稿内容について
 - ・「雪遊び」の魅力(4) 今後の活動について

5 開催概要

2月に入って1回目の会議です。新型コロナウイルス感染症の影響で今回もオンライン開催となりましたが、ひとり一人の顔を正面から見られるし、オンラインだからこそ時間の合間を縫って参加できるという委員もいるので、完全オンラインも楽しかったです。

3月の活動報告会まで残り少なくなりましたが、できる限り準備を進めていきたいと思えます。



令和3年度 青森市子ども会議活動報告会について

今年度は、他都市とのオンライン交流や子ども会議フォーラムなどで、私たち子ども会議の活動内容は何度も発表してきました。委員からは、「活動報告会でも、これまで

の経験を活かして発表したい」との声が上がったので、スライドを活用しながら発表することに決まりました。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響もあるので、第1回会議のときと同様に代表の委員数名が会場、そのほかの委員はオンライン参加になりそうです。オンライン参加でも、今年度の活動の感想など市長に一言求められたときに答えられるように準備を進めたいと思います。

活動報告会で説明に使うスライドは、「青森市子ども会議フォーラム2021」の資料をもとに作成することにしました。子ども会議フォーラムのときは配付資料として印刷したものを渡していましたが、今回はスライドで見せる形になるので、文字の数や大きさなどに気を配り、見やすくわかりやすいスライドにしたいと思います。また、スライドの背景は、フォーラムのときと同じように「空」をテーマにけんりはかせの友達の青い鳥を配置するなど、明るいイメージにしたいと思います。

今日話し合った内容をもとに事務局でスライド案を作成してくれることになったので、次回の会議ではそれを使って話し合いを進めたいと思います。

次に、記念品のキーホルダーのデザインについて話し合い、市長へプレゼントするスペシャルバージョンと委員用の2種類のデザインを製作することにしました。

どちらのデザインにも「けんりはかせは絶対入れたい!」という声が多数だったので、それぞれ、けんりはかせをメインにしたデザインに決めました。

市長用のデザインでは、「けんりはかせが市長に風船を渡す感じ」「風船にありがとうございました、などのメッセージを入れる」「子ども会議一同、みたいに子ども会議の文字を入れたい」、「青森市の文字は小さくて良い」、「青森市じゃなくてAomori Cityにしても良いかも」などの意見をもとに、高校生委員がデザインを考えてくれることになりました。

委員用のデザインでは、「けんりはかせのほかにりんごや風船のモチーフを入れたい」、「キーホルダーはデザインに沿って切り抜いた形にする」、「子ども会議という文字を入れる」、「イラストは手書き風に」などの意見をもとに高校生委員がいくつかデザインを考えてくれることになりました。

それぞれ、次回の会議でデザインを確定したいと思います。



青森市子ども会議より

令和4年度 青森市子ども会議委員募集チラシについて

次に、令和4年度の子ども会議委員とサポーターを募集するチラシのデザインを話し合いました。「青森市子ども会議のチラシと言えば、黒板風の背景だと思う」という意見と、「白地の方が色もはっきりわかるから目立つと思う」の2つの意見がありました。多数決を取ったところ、背景は白地という意見が少しだけ多かったので、両方の意

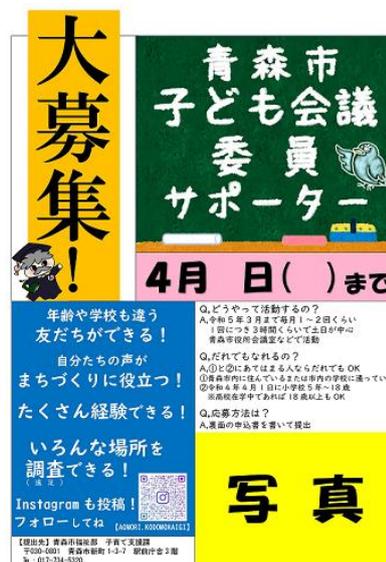
見を合体して、全体を白地にし、タイトル部分に黑板風のデザインを取り入れることにしました。

また、チラシに掲載する写真は「いろんな場所に調査に行ったときの写真」という意見や、「緊張を与えない、楽しそうな写真」、「活動の様子がわかるような写真」、「わいわい、アットホームな雰囲気が分かるような写真」などの意見が出されたので、イメージに合った写真をみんなで選んで、次回会議で決定することにしました。

チラシを見た人の興味を引くような言葉として、「年齢や学校が違う友だちができる」、「みんなで仲良く活動している」、「いろいろな経験ができる」、「青森市のまちづくりに貢献できる」、「いろんな場所に調査に行ける」、「自分たちの声を市長に提案できる」などたくさんの意見が出ました。これらの意見をま

とめ、チラシには「年齢や学校のちがう友達ができる！」、「青森市のまちづくり、PRに貢献できる！」、「いろんな場所で調査（遠足）できる！」の3つの言葉を記載することにし、スペースに余裕があれば、「たくさん経験できる」や「自分の声で提案できる」などの言葉も記載したいと思います。

また、活動の詳細の説明はQ&A形式で記載することにしました。次回の会議でチラシデザインを決定します。



Instagram への投稿内容について

今年度の活動の一つである Instagram への投稿ですが、今回は奈良市子ども会議のみんなが興味を持ってくれた「青森市の雪」について投稿したいと思います。

「雪遊びと言えば？」と委員みんなに聞くと、「雪合戦」、「雪だるま」、「かまくらづくり」、「スキー」、「スノーボード」がすぐに思いつきました。また、イベントや祭りの雪遊びとしては、「バナナボード」、「雪像」、「大型すべり台」、「学校の登下校中だったら、凍っている道路をスケートみたいに滑ったり、水たまりの薄い氷を割ったりするのも楽しい」、「まっさらな雪に面白いポーズでダイブして人型を取る」など、たくさんの雪遊びがありました。

これらの中から Instagram に実際投稿できそうな内容として、今年、委員がもう既に写真に残していた「雪だるま」と「かまくら」を選びました。雪合戦も楽しそうでしたが、動画に撮るのが難しそうなので、今回は見送ることとしました。

かまくらの写真では、自分が入れるくらい大きいサイズで作っている小学生委員がいて驚きました。かわいらしい3段雪だるまや委員の妹がかまくらに入ってポーズを

とっている楽しそうな写真などと一緒に、雪遊びの楽しさを投稿したいと思います。

今後の活動について

次の会議では、次年度の委員募集チラシが完成します。活動報告会のスライドや発表内容、キーホルダーのデザインなども、ほとんど決定できるくらいの勢いで進めていきたいと思っています。